

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.79

(令和3年7月～12月期)

三重県商工会議所連合会
桑名商工会議所
四日市商工会議所
鈴鹿商工会議所
亀山商工会議所
津商工会議所
松阪商工会議所
伊勢商工会議所
鳥羽商工会議所
上野商工会議所
名張商工会議所
尾鷲商工会議所
熊野商工会議所

はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 3 年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲36.4 と令和 3 年上期に比べ 12.1 ポイント改善しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲29.3（前期▲45.8）、建設業▲25.2（前期▲34.1）、卸売業▲46.6（前期▲63.0）、小売業▲53.5（前期▲62.3）、飲食業▲62.6（前期▲82.3）、サービス業▲32.2（前期▲41.9）、交通運輸業▲26.7（前期▲27.3）、その他の業種▲20.8（前期▲32.6）と、交通運輸業を除くすべての業種で改善しました。交通運輸業はほぼ横ばいとなりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲33.4（前期▲45.1）、中勢地区▲39.2（前期▲43.1）、南勢地区▲44.6（前期▲60.7）、伊賀地区▲34.0（前期▲54.3）、東紀州地区▲38.0（前期▲55.3）となり、すべての地区で改善しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲30.9 となり、現状の D I 値（▲36.4）と比較すると 5.5 ポイントの改善を見通しています。業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業が改善を見通すほか、建設業、その他の業種は悪化の見通しです。地区別では、すべての地区で改善の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目においては、仕入条件の全体 D I 値は悪化の傾向となりましたが、その他の項目は全体 D I 値が前期より改善の傾向となりました。

地区別では「売上状況」はすべての地区で改善、「利益状況」はすべての地区で改善、「販売条件」は中勢地区がほぼ横ばい、その他の地区はすべての地区で改善、「仕入条件」はすべての地区で悪化しました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 20.7%（前期 18.1%）と 2.6 ポイント増加し、「予定している」とした割合は、全体で 14.2%（前期 12.7%）と 1.5 ポイント増加しました。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 1.8（前期 4.2）と悪化したほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 11.5%（前期 11.8%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 65.0%（前期 71.5%）、『設備資金』の割合は 30.6%（前期 25.5%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 4 年 2 月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔*1〕が、小規模企業〔*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

〔* 1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

〔* 2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

〔* 3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山
中勢地区……津・松阪
南勢地区……伊勢・鳥羽
伊賀地区……上野・名張
東紀州地区…尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,441 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 27.3%、回答企業 2,576 事業所であった。

3. 調査方法

FAX または郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

令和 4 年 1 月 4 日～1 月 14 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の D I 値による調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、桑名・四日市・鈴鹿・亀山の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢					中勢			南勢			伊賀			東紀州			計	
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野			
製造業	食料	44	7	26	10	1	21	8	13	21	8	13	8	5	3	14	11	3	108	
	せんい	4	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	8	8	0	1	1	0	15	
	機械	55	21	21	11	2	10	3	7	11	5	6	4	2	2	2	2	0	82	
	金属製品	71	29	17	17	8	10	5	5	11	8	3	4	4	0	4	4	0	100	
	木材	21	9	7	3	2	18	1	17	5	5	0	2	2	0	12	9	3	58	
	化学	7	2	2	2	1	0	0	0	1	1	0	3	0	3	0	0	0	11	
	窯業	15	0	13	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	18	
	印刷出版	9	4	1	2	2	10	7	3	3	3	0	1	0	1	1	1	0	24	
	その他	47	12	19	15	1	18	4	14	11	9	2	3	2	1	3	3	0	82	
計	273 (19.8) (54.8)	84	109	61	19	89	28	61	63	39	24	35	25	10	38	32	6	498 (19.3) (100)		
非製造業	建設業	土木工事	89	11	41	31	6	17	8	9	10	5	5	16	5	11	9	5	4	141
		建築工事	156	34	79	34	9	53	21	32	26	19	7	14	11	3	18	13	5	267
		その他	139	21	76	38	4	44	23	21	18	17	1	11	5	6	11	7	4	223
		(小計)	384	66	196	103	19	114	52	62	54	41	13	41	21	20	38	25	13	631
	卸売業	食料	18	8	4	2	4	6	2	4	11	9	2	5	4	1	10	7	3	50
		せんい	9	2	6	1	0	2	1	1	5	4	1	0	0	0	2	1	1	18
		その他	50	11	27	8	4	18	5	13	16	11	5	8	2	6	1	1	0	93
		(小計)	77	21	37	11	8	26	8	18	32	24	8	13	6	7	13	9	4	161
	小売業	せんい	35	12	10	8	5	14	5	9	18	15	3	7	6	1	5	4	1	79
		食料	43	17	12	6	8	16	4	12	16	13	3	7	4	3	12	4	8	94
		日用品	5	4	0	0	1	4	3	1	5	5	0	3	2	1	3	1	2	20
		電気製品	14	4	4	4	2	6	2	4	9	8	1	4	4	0	4	3	1	37
		その他	91	25	39	23	4	38	2	36	29	21	8	17	10	7	15	11	4	190
		(小計)	188	62	65	41	20	78	16	62	77	62	15	38	26	12	39	23	16	420
		飲食業	108	20	36	38	14	18	2	16	53	37	16	20	13	7	20	12	8	219
	サービス業	美容・理容	41	10	21	7	3	6	1	5	3	3	0	11	8	3	7	6	1	68
		ホテル旅館	3	1	2	0	0	3	1	2	16	1	15	4	4	0	5	2	3	31
		自動車整備	35	9	7	13	6	20	6	14	7	7	0	10	4	6	6	3	3	78
		不動産	67	13	46	6	2	20	8	12	7	7	0	6	1	5	5	4	1	105
		その他	103	32	52	9	10	28	7	21	29	25	4	20	8	12	13	7	6	193
		(小計)	249	65	128	35	21	77	23	54	62	43	19	51	25	26	36	22	14	475
	交通運輸業	17	3	3	4	7	17	3	14	1	1	0	5	5	0	5	5	0	45	
	計	1023 (74.1) (52.5)	237	465	232	89	330	104	226	279	208	71	168	96	72	151	96	55	1951 (75.7) (100)	
その他・不明	85 (6.2) (66.9)	36	29	17	3	18	18	0	15	14	1	3	2	1	6	3	3	127 (4.9) (100.0)		
合計	1381 (100.0) (53.6)	357	603	310	111	437	150	287	357	261	96	206	123	83	195	131	64	2576 (100.0) (100.1)		

1. 現状と今後の見通し

a) 現状

全回答企業 2,576 事業所中、「良い・やや良い」が 15.9%、「悪い・やや悪い」が 52.3%で、D I 値は▲36.4（前期▲48.5）となり、12.1 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前回と比べ、ほぼ横ばいの交通運輸業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲29.3、建設業▲25.2、卸売業▲46.6、小売業▲53.5、飲食業▲62.6、サービス業▲32.2、交通運輸業▲26.7、その他の業種▲20.8 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べ、すべての地区で改善が見られ、北勢地区▲33.4、中勢地区▲39.2、南勢地区▲44.6、伊賀地区▲34.0、東紀州地区▲38.0 となった。

図-1 現状について（業種別）

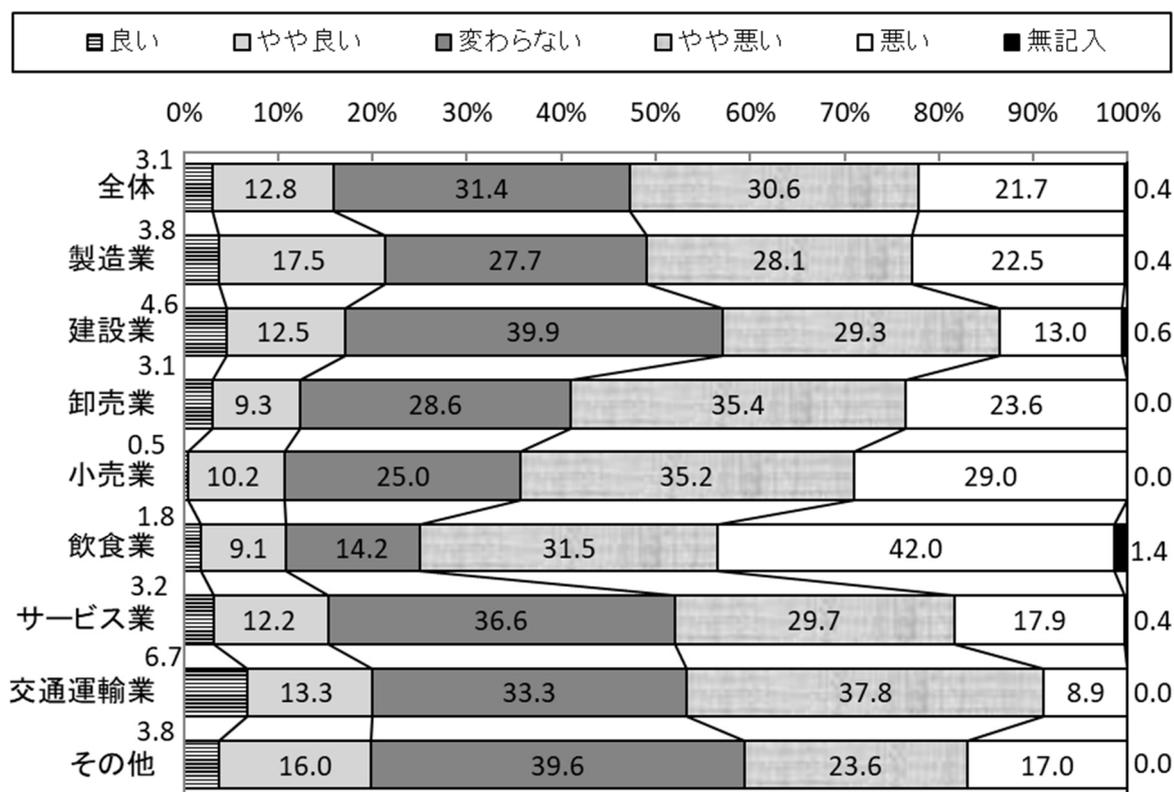


図-2 現状について（全体・地区別）

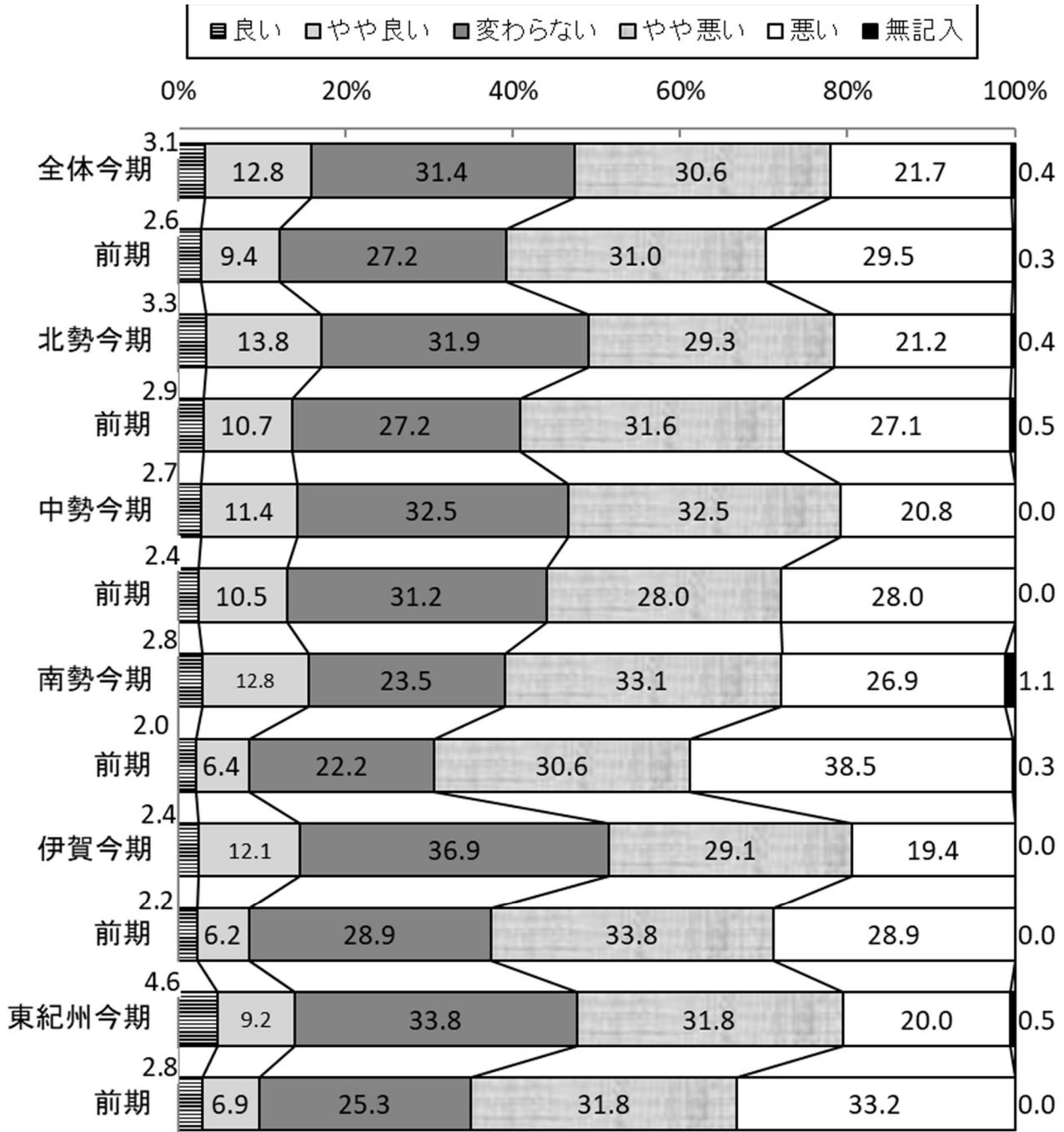
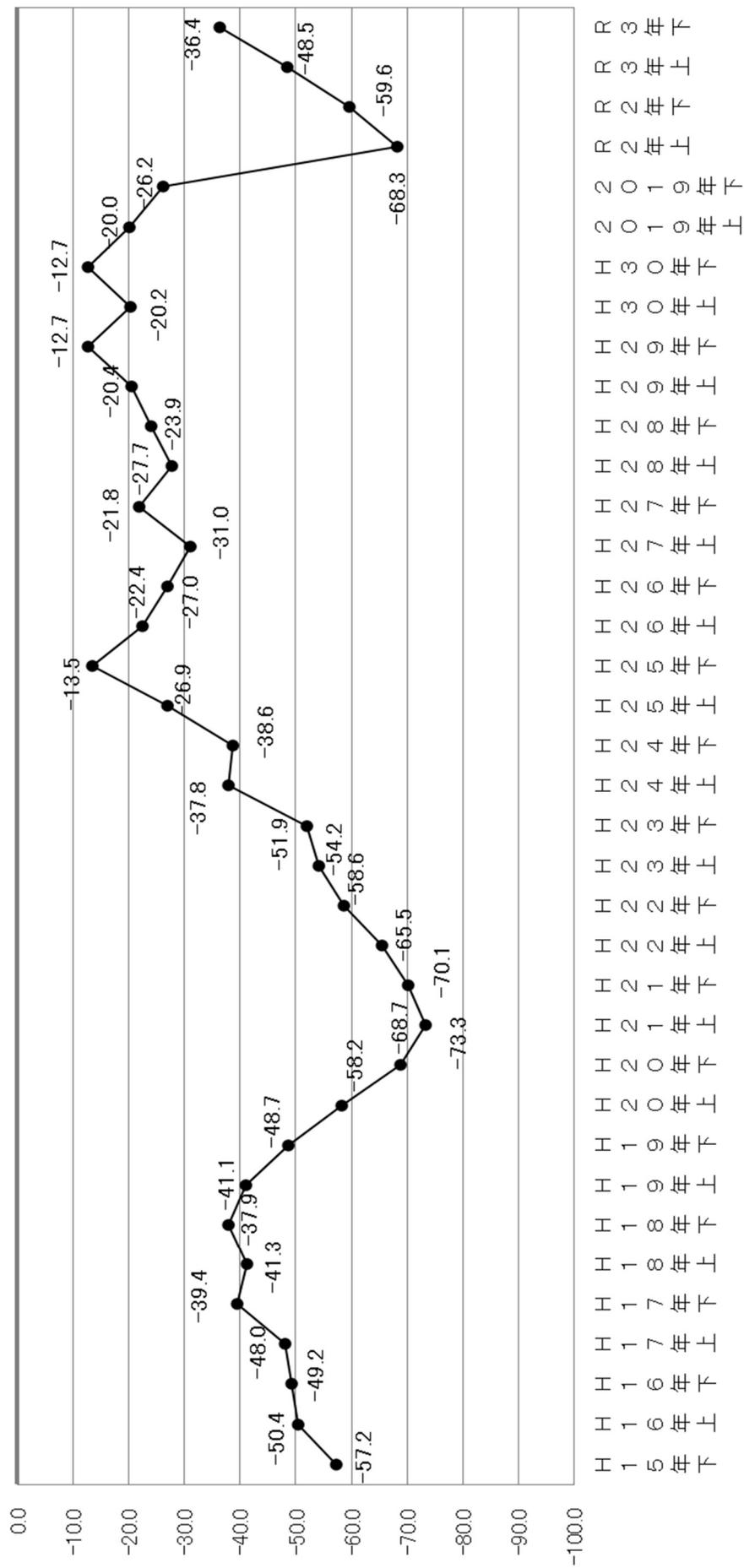


図-3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

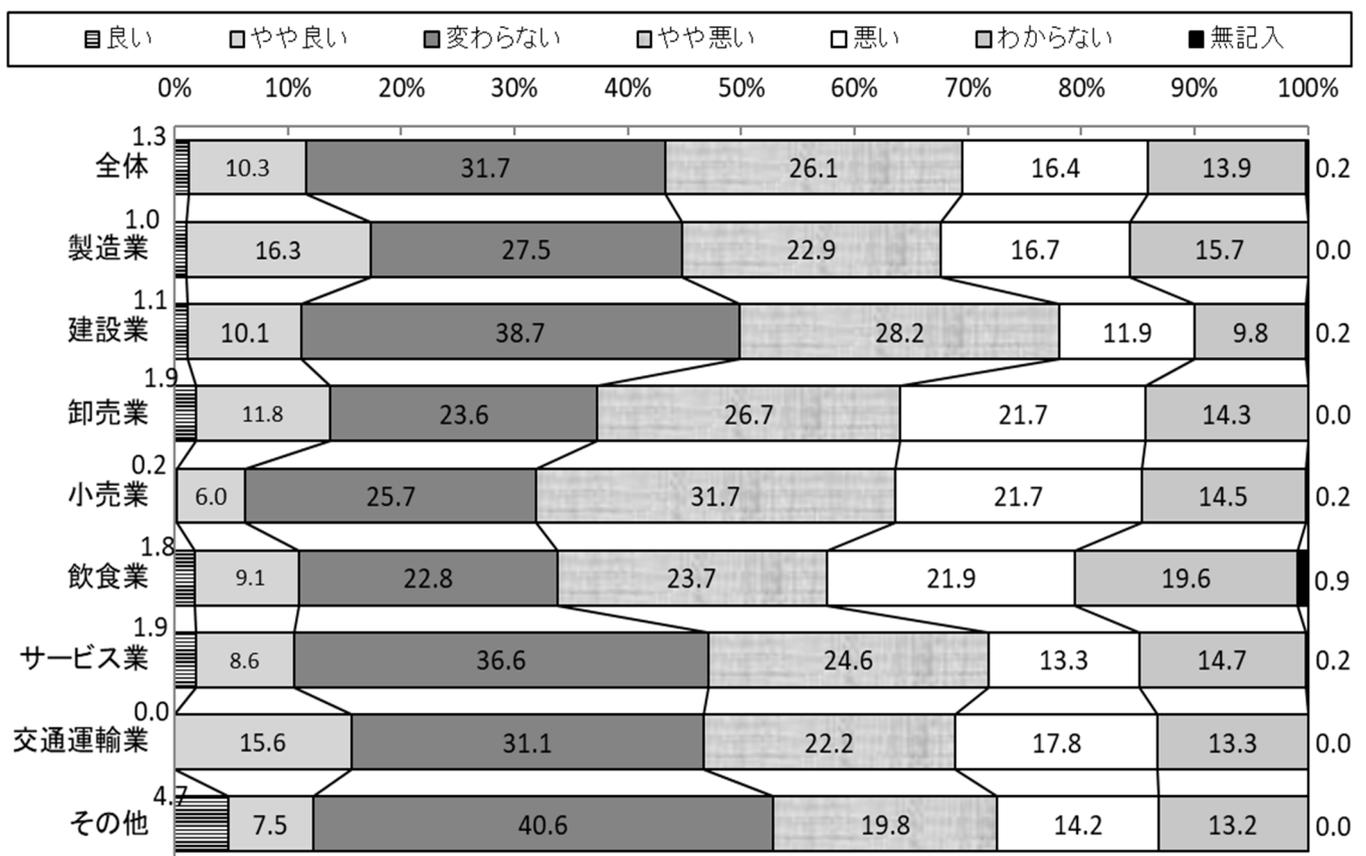
b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が11.6%、「悪い・やや悪い」は42.5%で、D I値は▲30.9（現状D I値▲36.4）となり、5.5ポイント改善の見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、建設業、その他の業種でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲22.3、建設業▲28.9、卸売業▲34.7、小売業▲47.2、飲食業▲34.7、サービス業▲27.4、交通運輸業▲24.4、その他の業種▲21.8となった。

地区別のD I値では、現状と比べ、すべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲31.6、中勢地区▲32.0、南勢地区▲26.0、伊賀地区▲29.6、東紀州地区▲33.8となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



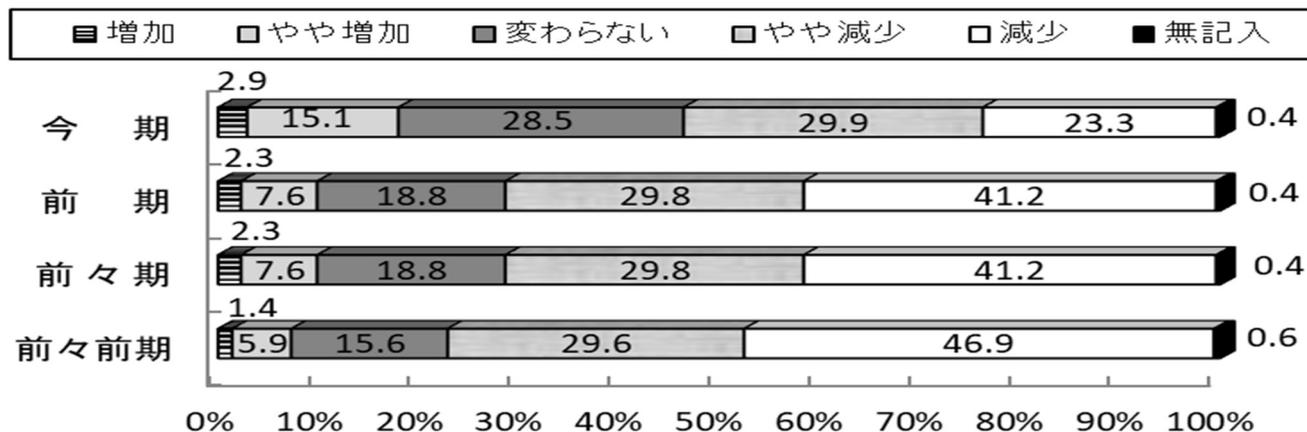
2. 最近の売上状況

全体では、「増加・やや増加」が18.0%（前期13.9%）、「やや減少・減少」が53.2%（前期61.3%）で、D I値は▲35.2（前期▲47.4）となり、12.2ポイント改善した。

業種別のD I値では、前回と比べ、すべての業種でマイナス幅が減少し改善となり、製造業▲24.5、建設業▲26.7、卸売業▲42.3、小売業▲54.5、飲食業▲57.6、サービス業▲31.6、交通運輸業▲17.8、その他の業種▲20.8となった。

地区別のD I値では、前回と比べ、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲31.9、中勢地区▲38.7、南勢地区▲44.5、伊賀地区▲31.0、東紀州地区▲38.0となった。

図-5 売上状況



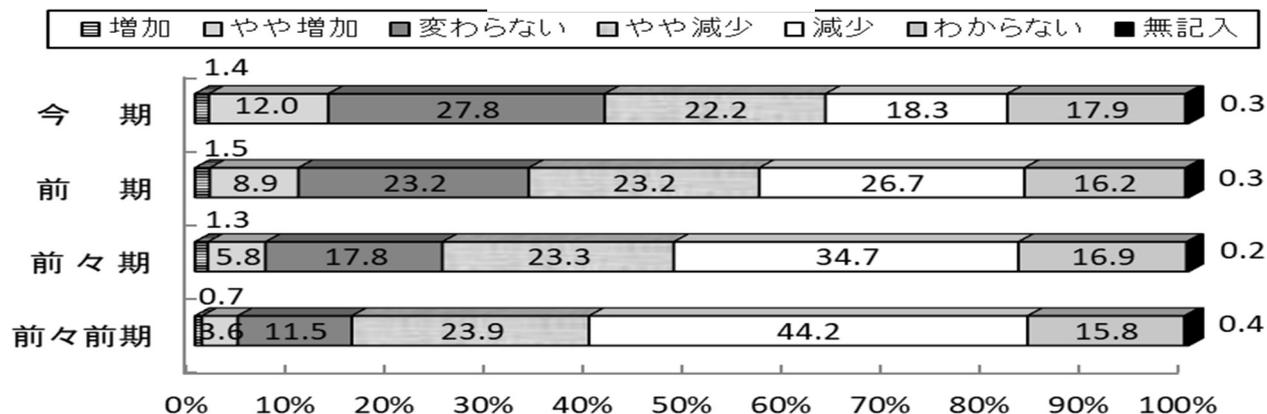
3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が13.4%（前期10.4%）、「やや減少・減少」が40.5%（前期49.9%）で、D I値は▲27.1（現状D I値▲35.2）となり、8.1ポイント改善する見通しとなった。

業種別のD I値では、現状と比べ、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、建設業、その他の業種ではほぼ横ばい、交通運輸業でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲15.3、建設業▲26.2、卸売業▲26.7、小売業▲44.2、飲食業▲22.8、サービス業▲29.2、交通運輸業▲26.7、その他の業種▲20.8となった。

地区別のD I値では、現状と比べ、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲26.4、中勢地区▲29.5、南勢地区▲25.0、伊賀地区▲24.3、東紀州地区▲34.3となった。

図-6 売上見通し



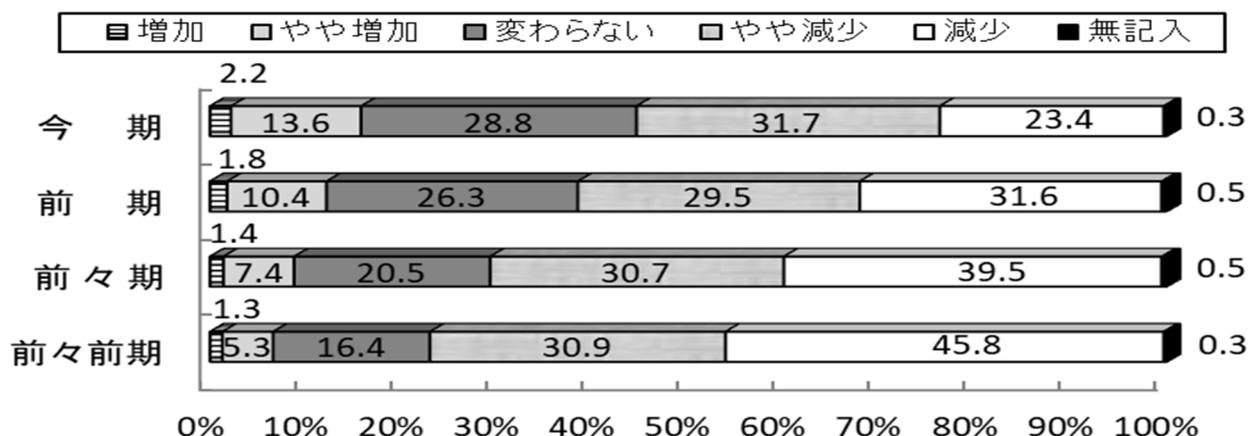
4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が 15.8%（前期 12.2%）、「やや減少・減少」が 55.1%（前期 61.1%）で、D I 値は▲39.3（前期▲48.9）となり、9.6 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前回と比べ、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業でマイナス幅が減少し改善となり、その他の業種でほぼ横ばい、交通運輸業でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲28.7、建設業▲34.2、卸売業▲43.4、小売業▲55.0、飲食業▲59.8、サービス業▲35.1、交通運輸業▲37.8、その他の業種▲27.4 となった。

地区別の D I 値では、前回と比べ、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲35.8、中勢地区▲43.7、南勢地区▲44.6、伊賀地区▲39.3、東紀州地区▲44.6 となった。

図-7 利益状況



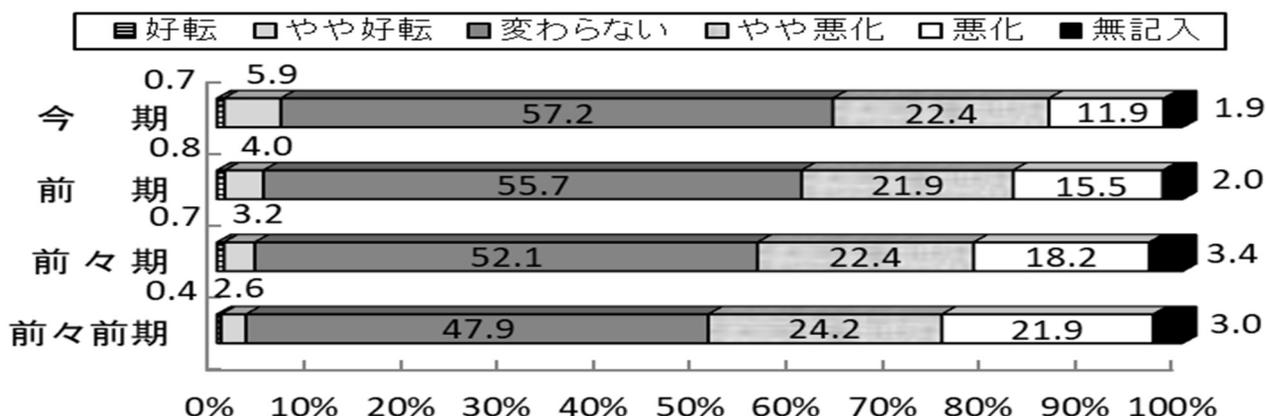
5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が 6.6%（前期 4.8%）、「やや悪化・悪化」が 34.3%（前期 37.4%）で、D I 値は▲27.7（前期▲32.6）となり、4.9 ポイント改善した。

業種別の D I 値では、前回と比べ、マイナス幅が増加し悪化となった卸売業を除く、すべての業種でマイナス幅が減少し改善が見られ、製造業▲21.5、建設業▲26.9、卸売業▲25.5、小売業▲35.6、飲食業▲43.8、サービス業▲25.1、交通運輸業▲11.1、その他の業種▲17.9 となった。

地区別の D I 値では、ほぼ横ばいの中勢地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善となり、北勢地区▲27.7、中勢地区▲27.5、南勢地区▲32.8、伊賀地区▲19.5、東紀州地区▲28.8 となった。

図-8 販売条件



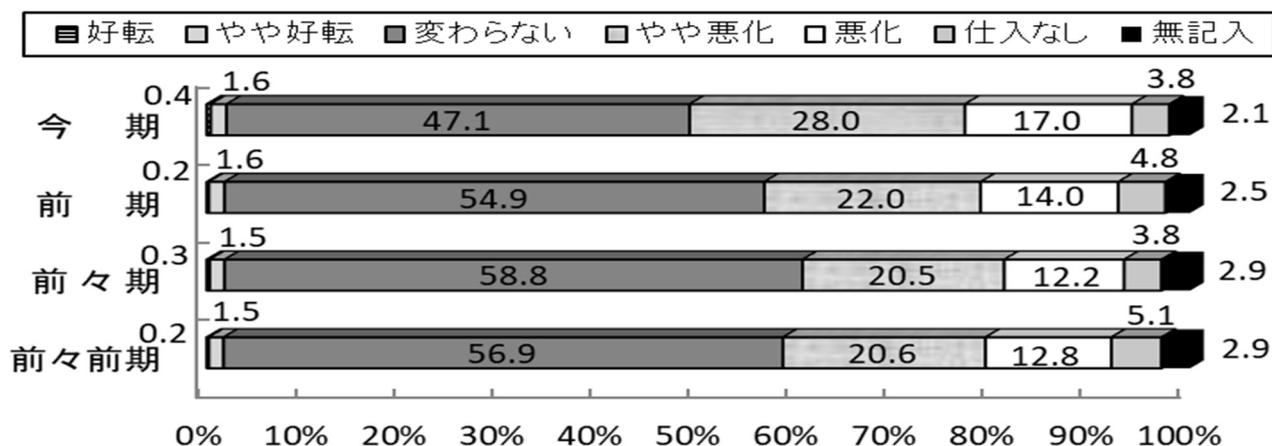
6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が2.0%（前期1.8%）、「やや悪化・悪化」が45.0%（前期36.0%）で、D I値は▲43.0（前期▲34.2）となり、8.8ポイント悪化となった。

業種別のD I値では、前回と比べ、マイナス幅が減少し改善したその他の業種を除く、すべての業種でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲51.0、建設業▲45.3、卸売業▲43.5、小売業▲42.2、飲食業▲63.4、サービス業▲28.5、交通運輸業▲44.5、その他の業種▲13.2となった。

地区別のD I値では、前回と比べ、すべての地区でマイナス幅が増加し悪化が見られ、北勢地区▲41.5、中勢地区▲47.4、南勢地区▲42.4、伊賀地区▲48.0、東紀州地区▲40.0となった。

図-9 仕入条件



7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は533社、20.7%（前期500社、18.1%）、設備投資を予定している企業は365社、14.2%（前期351社、12.7%）であった。

業種別では、飲食業が32.4%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定については、サービス業が21.5%と最も高い割合であった。

地区別では、伊賀地区が実績26.2%と最も高く、設備投資の予定については北勢地区が15.6%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

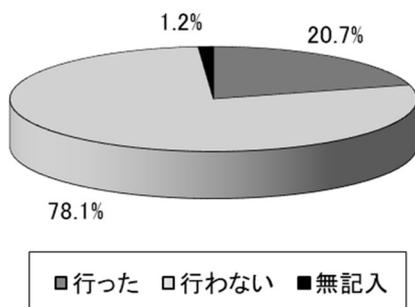
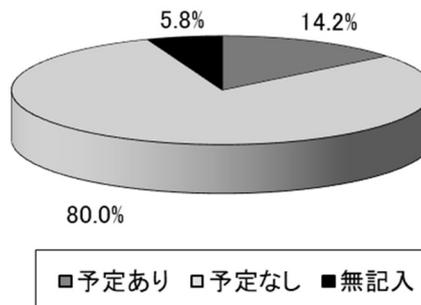


図-11 設備投資の予定



8. 資金繰り状況と今後の見通し

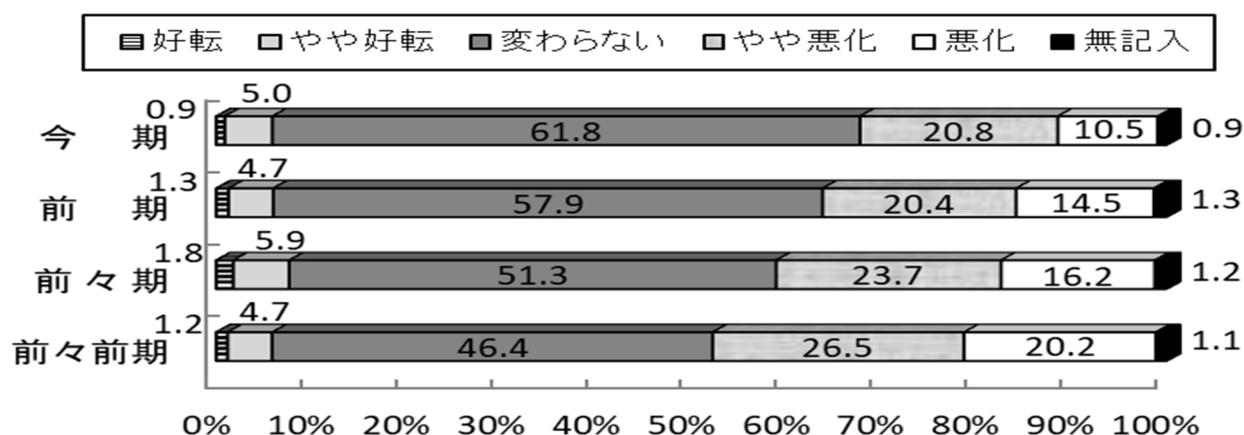
a) 現状

全体では「好転・やや好転」が5.9%（前期6.0%）、「悪化・やや悪化」は31.3%（前期34.9%）で、D I値は▲25.4（前期▲28.9）となり、3.5ポイント改善した。

業種別D I値では、前回と比べ、製造業、建設業、飲食業でマイナス幅が減少し改善が見られ、小売業、サービス業でほぼ横ばい、卸売業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が増加し悪化が見られ、製造業▲22.7、建設業▲16.6、卸売業▲26.1、小売業▲36.2、飲食業▲39.3、サービス業▲27.0、交通運輸業▲24.4、その他の業種▲16.1となった。

地区別D I値では、前回と比べ、マイナス幅が増加し悪化となった伊賀地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善が見られ、北勢地区▲23.1、中勢地区▲21.9、南勢地区▲35.3、伊賀地区▲33.0、東紀州地区▲24.6となった。

図-12 資金繰りの現状



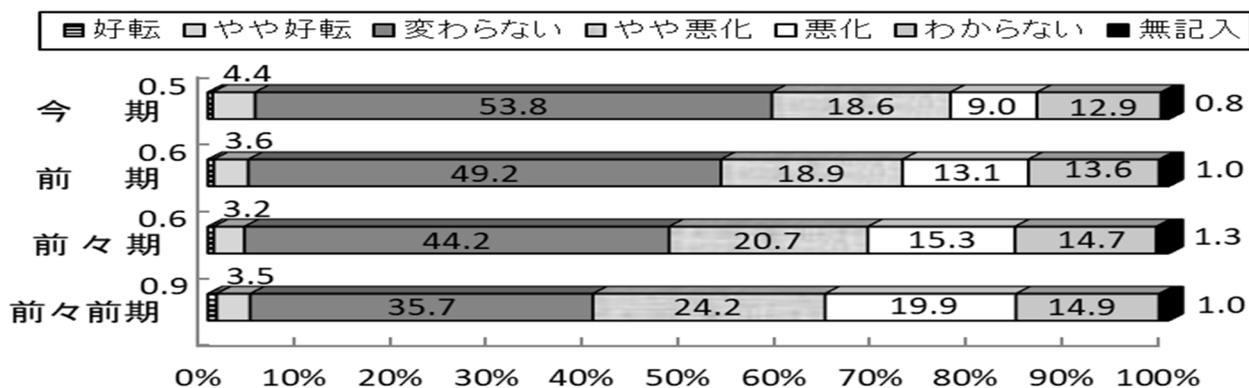
b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が4.9%（前期4.2%）、「悪化・やや悪化」は27.6%（前期32.0%）でD I値は▲22.7（現状D I値▲25.4）となり、2.7ポイント改善の見通しとなった。

業種別D I値では、現状と比べ、製造業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業、その他の業種でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、建設業、卸売業でマイナス幅が増加し悪化する見通しが見られ、製造業▲21.7、建設業▲20.4、卸売業▲27.4、小売業▲28.6、飲食業▲29.3、サービス業▲18.7、交通運輸業▲22.2、その他の業種▲15.1となった。

地区別のD I値では、現状と比べ、ほぼ横ばいの伊賀地区を除く、すべての地区でマイナス幅が減少し改善する見通しとなり、北勢地区▲22.1、中勢地区▲19.4、南勢地区▲24.1、伊賀地区▲33.5、東紀州地区▲20.5となった。

図-13 資金繰りの見通し



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,576 社のうち、借入を実施した企業は、1,028 社、39.9%（前期 1,104 社、40.0%）であった。

b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 14.7%（前期 16.8%）、「困難」は 12.9%（前期 12.6%）で、D I 値は 1.8（前期 4.2）となり、2.4 ポイント悪化した。

業種別 D I 値では、製造業 2.0 で改善となり、建設業 6.8、小売業 0.8、飲食業▲9.0 でほぼ横ばい、卸売業▲1.7、サービス業▲2.2、交通運輸業▲5.5、その他の業種 11.4 で悪化となった。

図-14 借入の難易度

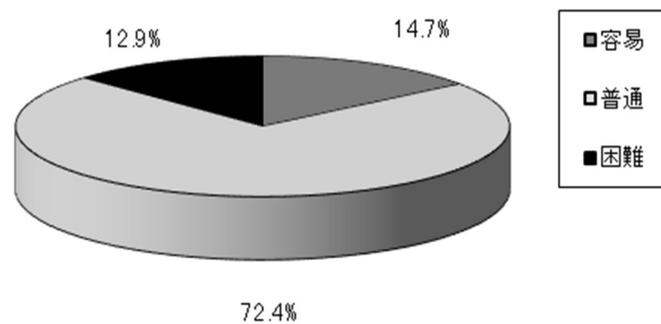
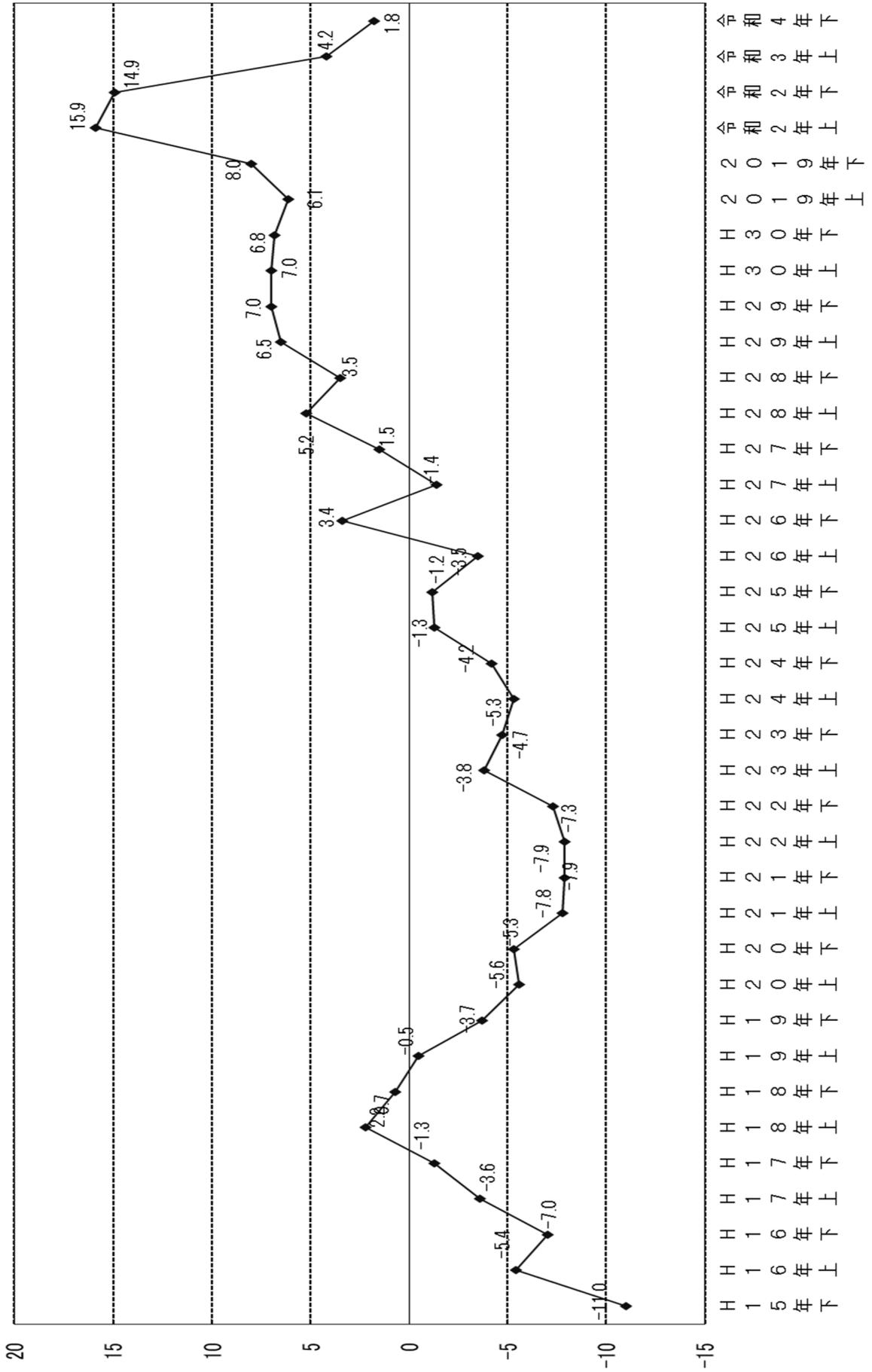


図-15 借入難易度DI値の推移



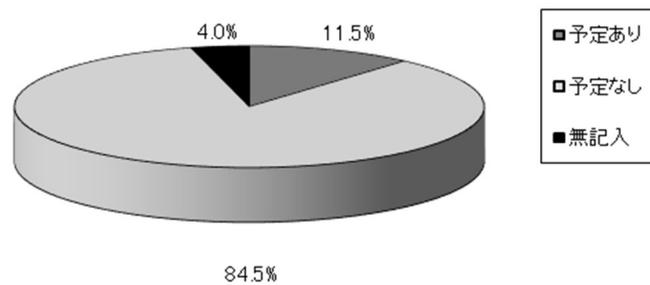
10. 借入予定

全体では、回答企業 2,576 社のうち、借入を予定している企業は 297 社、11.5%（前期 326 社 11.8%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 20.0%と最も高く、小売業が 6.9%と最も低かった。

地区別では、北勢地区と伊賀地区が 12.6%と最も高く、中勢地区 9.6%、南勢地区 9.8%、東紀州地区 10.3%となった。

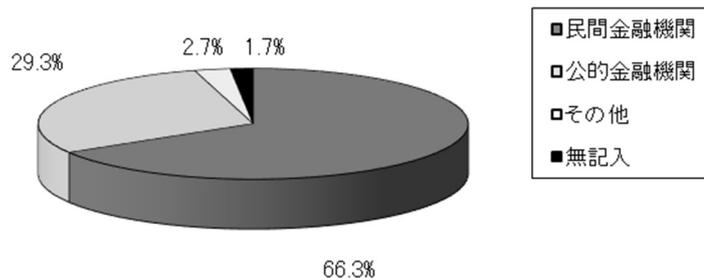
図-16 借入予定



11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 66.3%（前期 57.7%）、「公的金融機関」は 29.3%（前期 36.5%）となった。

図-17 借入希望先

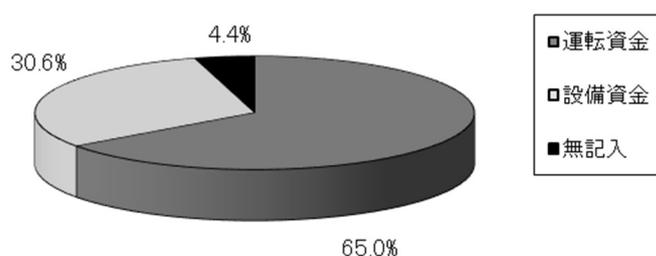


12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が65.0%（前期71.5%）に対し、「設備資金」は30.6%（前期25.5%）であった。

業種別では「運転資金」で建設業が82.9%、「設備資金」でサービス業が50.7%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く48.8%（前期57.7%）、次いで「原材料高及び不足」が30.0%（前期18.8%）、「人手不足」が25.6%（前期20.5%）となった。「売上・受注の停滞減少」は前回に引き続き、第1位となった。

業種別では、建設業を除く、すべての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業では「人手不足」が最も多かった。

表-1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (50.4)	原材料高及び不足 (42.6)	人手不足 (25.1)
	建 設 業	人手不足 (44.1)	売上・受注の停滞減少 (39.9)	原材料高及び不足 (38.4)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (64.6)	原材料高及び不足 (30.4)	競争激化 (16.1)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (66.9)	競争激化 (23.3)	原材料高及び不足 (20.2)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (53.9)	原材料高及び不足 (46.1)	設備店舗の狭小老朽化 (32.0)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (39.4)	設備店舗の狭小老朽化 (23.2)	人手不足 (17.9)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (44.4)	人手不足 (37.8)	人件費以外の経費増加 (35.6)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (33.0)	人手不足 (26.4)	人材育成 (23.6)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (47.0)	原材料高及び不足 (29.9)	人手不足 (26.8)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (52.9)	原材料高及び不足 (31.4)	人手不足 (26.3)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (48.2)	原材料高及び不足 (31.1)	人手不足 (30.0)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (54.4)	原材料高及び不足 (28.2)	競争激化 (23.3)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (48.2)	原材料高及び不足 (28.2)	設備店舗の狭小老朽化 (22.6)
総 合		売上・受注の停滞減少 (48.8)	原材料高及び不足 (30.0)	人手不足 (25.6)

(単位：%)

県内商工会議所地区の景況

桑名商工会議所地区（調査対象 1,480 事業所 回答状況 357 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が19.6%（前期15.4%）、「やや悪い・悪い」が51.6%（前期58.3%）となった。D I値は▲32.0（前期▲42.9）となり、前期調査時に比べ10.9ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲29.7（前期▲42.2）・建設業が▲18.1（前期▲26.4）・卸売業が▲47.6（前期▲68.0）・小売業が▲45.1（前期▲65.1）・飲食業が▲70.0（前期▲65.4）・サービス業が▲30.9（前期▲32.4）・交通運輸業が▲33.3（前期▲66.7）・その他の業種が▲4.5（前期▲13.1）となった。

業種別では前期と比較して幅はあるものの飲食業を除く全ての業種で改善が見られた。特に製造業・卸売業・小売業・交通運輸業については、10ポイント以上のマイナス幅の縮小が見られた一方で、飲食業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.4%、「やや悪い・悪い」との回答は43.2%で、D I値は▲29.8となった。

現状のD I値（▲32.0）と比較すると、2.2ポイントと若干の業況改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲19.1・建設業が▲22.7・卸売業が▲28.6・小売業が▲53.2・飲食業が▲35.0・サービス業が▲29.2・交通運輸業が▲33.4・その他の業種が▲13.7となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が10.6ポイント、卸売業が19.0ポイント、飲食業が35.0ポイント、サービス業が1.7ポイント改善する見通しである。

一方で交通運輸業が横ばいで、建設業が4.6ポイント、小売業が8.1ポイント、その他の業種が9.2ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、49.6%（前期57.8%）、「原材料高及び不足」が34.2%（前期21.6%）、「人手不足」が21.0%（前期17.5%）、「設備店舗の狭小老朽化」が18.8%（前期17.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業と飲食業は「原材料高及び不足」が最も多く、その他の業種は「人材育成」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は79社 22.1%（前期16.7%）であった。前期と比較して5.4ポイント増加した。

業種別では、製造業が17.9%（前期9.8%）、建設業が12.1%（前期21.1%）、卸売業が9.5%（前期8.0%）、小売業が19.4%（前期18.2%）、飲食業が55.0%（前期26.9%）、サービス業が33.8%（前期19.1%）、交通運輸業が0.0%（前期0.0%）、その他の業種が22.7%（前期21.7%）となった。

前期と比較し、飲食業が28.1ポイントと最も増加幅が大きく、建設業が▲9.0ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

四日市商工会議所地区（調査対象事業所事業所 2,256 事業所 回答状況 603 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が16.4%（前期14.8%）、「やや悪い・悪い」が49.0%（前期54.2%）となった。D I 値は▲32.6（前期▲39.4）となり、前期調査時に比べ6.8ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲27.5（前期▲33.7）・建設業が▲27.6（前期▲31.0）・卸売業が▲43.2（前期▲57.5）・小売業が▲47.7（前期▲70.7）・飲食業が▲61.1（前期▲70.8）・サービス業が▲30.5（前期▲25.8）・その他の業種が▲17.2（前期▲35.3）となった。

業種別では前期D I 値と比較してサービス業を除く全ての業種で改善した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.4%、「やや悪い・悪い」との回答は39.8%、D I 値は▲27.4となった。現状のD I 値（▲32.6）と比較すると、5.2ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲13.8・建設業が▲32.1・卸売業が▲37.8・小売業が▲41.6・飲食業が▲38.9・サービス業が▲22.7・その他の業種が▲6.9となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると製造業が13.7ポイント、卸売業が5.4ポイント、小売業が6.1ポイント、飲食業が22.2ポイント、サービス業が7.8ポイント、その他の業種が10.3ポイントと改善を見通す。一方で、建設業が▲4.5ポイントと悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く43.4%（前期52.2%）、次いで「人手不足」が29.7%（前期27.3%）、「原材料高及び不足」が29.2%（前期17.3%）と上位を占めた。

課題別では、「原材料高及び不足」が製造業で前期28.9%から今期45.9%と17.0%増加し、飲食業では前期25.0%から今期52.8%と27.8%増加した。全体的にもサービス業とその他の業種を除く全ての業種で上位3位以内に入る課題となり、多くの業種に影響が及んでいる。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は132社21.9%（前期21.6%）であった。前期と比較してほぼ横ばいに推移した。

業種別では、製造業が22.0%（前期30.1%）、建設業が20.4%（前期20.3%）、卸売業が8.1%（前期10.0%）、小売業が18.5%（前期12.0%）、飲食業が27.8%（前期33.3%）、サービス業が27.3%（前期26.8%）、その他の業種では27.6%（前期20.6%）となった。

前期と比較し、小売業が6.5ポイント、その他の業種が7.0ポイントと増加した一方で、建設業が0.1ポイント、サービス業が0.5ポイントとほぼ横ばいに推移し、製造業が8.1ポイント、卸売業が1.9ポイント、飲食業が5.5ポイント減少した。

鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 310 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が13.6%（前期11.5%）、「やや悪い・悪い」が53.9%（前期64.3%）となった。D I値は▲40.3（前期▲52.8）となり、前期調査時に比べ12.5ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲31.1（前期▲48.8）・建設業が▲28.2（前期▲51.6）・卸売業が▲45.5（前期▲71.5）・小売業が▲65.9（前期▲59.7）・飲食業が▲84.2（前期▲91.5）・サービス業が▲11.4（前期▲32.6）となった。

業種別に現状D I値を比較すると、製造業は17.7ポイント、建設業は23.4ポイント、卸売業は26.0ポイント、飲食業は7.3ポイント、サービス業は21.2ポイントの改善が見られた一方で、小売業は6.2ポイント悪化を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.0%、「やや悪い・悪い」との回答は53.5%、D I値は▲43.5となった。現状のD I値（▲40.3）と比較すると、3.2ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲31.2・建設業が▲35.9・卸売業が▲45.5・小売業が▲70.8・飲食業が▲57.9・サービス業が▲28.6となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、飲食業が26.3ポイントの改善を見通すほか、製造業が▲0.1ポイント、卸売業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、建設業が7.7ポイント、小売業が4.9ポイント、サービス業が17.2ポイントの悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く50.3%（前期58.9%）、「原材料高及び不足」が29.0%（前期21.3%）、「人材不足」が27.7%（前期19.1%）と上位を占めた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多かった。建設業は、「売上・受注の停滞減少」前期1位56.7%が今期2位40.8%へ、「人手不足」前期2位33.0%が今期1位52.4%へ変動した。「売上・受注の停滞減少」と並んで業界問題でもある「人手不足」の課題が表面化していることが窺える。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は59社19.0%（前期16.3%）であった。前期と比較し2.7ポイント増加した。業種別では、製造業が18.0%（前期11.4%）、建設業が20.4%（前期22.7%）、卸売業が0.0%（前期14.3%）、小売業が2.4%（前期が5.8%）、飲食業が31.6%（前期19.1%）、サービス業が25.7%（前期18.4%）となった。前期と比較すると、飲食業で設備投資の増加が見られ、12.5ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。一方、卸売業は14.3ポイントと最も減少幅が大きく、今期は1社も設備投資が実施されない結果となった。

亀山商工会議所地区（調査対象 505 事業所 回答状況 111 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が22.5%（前期8.9%）、「やや悪い・悪い」が45.9%（前期63.4%）となった。D I 値は▲23.4（前期▲54.5）となり、前期調査時に比べ31.1ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲31.5（前期▲38.1）・建設業が▲5.2（前期▲43.8）・卸売業が▲25.0（前期▲40.0）・小売業が▲70.0（前期▲80.0）・飲食業が▲42.9（前期▲69.3）・サービス業が▲9.5（前期▲50.1）・交通運輸業が28.5（前期▲33.3）・その他の業種が100（前期▲83.4）となった。

業種別ではすべての業種において改善という結果となった。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が10.8%、「やや悪い・悪い」との回答は37.8%、D I 値は▲27.0となった。

現状のD I 値（▲23.4）と比較すると3.6ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲36.9・建設業が▲26.3・卸売業が▲37.5・小売業が▲40.0・飲食業が▲28.6・サービス業が▲23.9・交通運輸業が0.0・その他の業種が66.6となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、小売業が30.0ポイント・飲食業が14.3ポイント改善を見通す一方で、製造業が5.4ポイント・建設業が21.1ポイント・卸売業が12.5ポイント・サービス業が14.4ポイント・交通運輸業が28.5ポイント・その他の業種が33.4ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、48.6%（前期60.7%）、「人手不足」が27.0%（前期17.9%）、「原材料高及び不足」が22.5%（前期12.5%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業は「売上・受注の停滞減少」を、建設業は「原材料高及び不足」を、交通運輸業は「人手不足」を、その他の業種では「人手不足」・「競争激化」を上位に挙げている結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は20社 18.0%（前期23.2%）であった。前期と比較して製造業・建設業・飲食業・サービス業・交通運輸業で減少し、全体として5.2ポイント減少した。

業種別では、製造業が21.1%（前期23.8%）、建設業が5.3%（前期12.5%）、卸売業が50.0%（前期40.0%）、小売業が15.0%（前期10.0%）、飲食業が28.6%（前期61.5%）、サービス業が14.3%（前期22.7%）、交通運輸業が0.0%（前期11.1%）、その他の業種が33.3%（前期16.7%）となった。

津商工会議所地区（調査対象 1626 事業所 回答状況 150 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が18.7%（前期12.8%）、「やや悪い・悪い」が47.3%（前期53.2%）となった。D I 値は▲28.6（前期▲40.4）となり、前期調査時に比べ11.8ポイント改善する結果となった。

業種別の主要なD I 値を見ると、製造業が▲24.9（前期▲64.3）・建設業が▲7.6（前期▲32.8）・卸売業が▲62.5（前期▲53.9）・小売業が▲68.7（前期▲18.7）・サービス業が▲30.4（前期▲40.7）・その他の業種が▲33.2（前期▲31.3）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業、建設業、サービス業でマイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、卸売業、小売業、その他の業種については悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.0%、「やや悪い・悪い」との回答は35.3%、D I 値は▲21.3となった。

現状のD I 値（▲28.6）と比較すると、7.3ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲17.8・建設業が▲7.7・卸売業が▲25.0・小売業が▲50.0・サービス業が▲39.1・その他の業種が▲16.7を見通す結果となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業、卸売業、小売業、その他の業種でマイナス幅の縮小がみられ改善の見通しとなった。建設業はほぼ横ばい、サービス業は8.7ポイント悪化する見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、55.3%（前期56.1%）、「人手不足」が32.0%（前期28.7%）、「原材料高及び不足」が30.7%（前期14.0%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業・その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が、建設業では「人手不足」第1位の項目となっている。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は27社18.0%（前期15.8%）であり、前期と比較して2.2%増加した。業種別の実施件数上位は、建設業13社（前期9社）、製造業5社（前期6社）、サービス業5社（前期3社）という結果となった。

松阪商工会議所地区（調査対象 813 事業所 回答状況 287 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が11.9%（前期12.9%）、「やや悪い・悪い」が56.4%（前期57.3%）となった。D I 値は▲44.5（前期▲44.4）となり、前期調査時に比べほぼ横ばいする結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲27.9（前期▲56.3）・建設業が▲43.6（前期▲27.1）・卸売業が▲55.4（前期▲73.4）・小売業が▲56.4（前期▲41.3）・飲食業が▲62.5（前期▲77.7）・サービス業が▲44.5（前期▲45.9）・交通運輸業が▲35.7（前期▲11.6）となった。

業種別では前期D I 値と比較して、製造業、卸売業、飲食業、サービス業は改善。一方で、建設業、小売業、交通運輸業は悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.7%、「やや悪い・悪い」との回答は45.3%、D I 値は▲37.6となった。

現状のD I 値（▲44.5）と比較すると、6.9ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲34.4・建設業が▲30.6・卸売業が▲66.7・小売業が▲56.5・飲食業が▲18.8・サービス業が▲27.8・交通運輸業が▲21.4となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、建設業が13.0ポイント、飲食業が43.7ポイント、サービス業が16.7ポイント、交通運輸業が14.3ポイント改善する見通し。一方で、製造業が6.5ポイント、卸売業が11.3ポイント悪化する見通し。小売業はほぼ横ばいする見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く51.6%（前期53.4%）、「原材料高及び不足」が31.7%（前期19.3%）、「人手不足」が23.3%（前期20.9%）が上位を占めた。

また、業種別では、製造業を除く全ての業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。一方で、製造業は「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は43社15.0%（前期18.4%）であった。前期と比較して3.4ポイント減少した。

業種別では、製造業が16.4%（前期21.8%）、建設業が11.3%（前期18.6%）、卸売業が22.2%（前期13.3%）、小売業が12.9%（前期12.5%）、飲食業が18.8%（前期11.1%）、サービス業が11.1%（前期16.7%）、交通運輸業が35.7%（前期47.1%）となった。

前期と比較し、卸売業が8.9ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業は11.4ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 261 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が16.5%（前期8.7%）、「やや悪い・悪い」が55.9%（前期65.5%）となった。D I 値は▲39.4（前期▲56.8）となり、前期調査時に比べ17.4ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲23.0（前期▲42.1）・建設業が▲39.0（前期▲24.4）・卸売業が▲58.4（前期▲60.0）・小売業が▲51.6（前期▲78.9）・飲食業が▲51.3（前期▲86.0）・サービス業が▲13.9（前期▲49.1）・交通運輸業が▲0.0（前期▲0.0）・その他の業種が▲44.5（前期▲25.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して製造業は19.1ポイント、卸売業は1.6ポイント、小売業は27.3ポイント、飲食業は34.7ポイント、サービス業は35.2ポイントの改善が見られた一方で、交通運輸業は横ばい、建設業は14.6ポイント、その他の業種は19.5ポイント悪化を示した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.1%、「やや悪い・悪い」との回答は38.4%、D I 値は▲25.3となった。

現状のD I 値（39.4）と比較すると、14.1ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲12.8・建設業が▲34.1・卸売業が▲16.6・小売業が▲35.5・飲食業が▲16.2・サービス業が▲18.7・交通運輸業が▲0.0・その他の業種が▲44.4となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が10.2ポイント、建設業が4.9ポイント、卸売業が41.8ポイント、小売業が16.1ポイント、飲食業が35.1ポイント改善を見通すほか、交通運輸業が0.0ポイント、その他の業種が0.1ポイントと現在の水準で推移する見通しである。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、49.0%（前期63.6%）、「人手不足」が30.7%（前期20.4%）、「原材料高及び不足」が29.5%（前期16.7%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業で「原材料高及び不足」、サービス業と交通運輸業で「人手不足」が城を占めた。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は58社 22.2%（前期14.5%）であった。前期と比較して7.7ポイント増加した。業種別では、製造業が14社と最も多かった。

鳥羽商工会議所地域（調査対象 250 事業所 回答状況 96 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が12.5%（前期7.7%）、「やや悪い・悪い」が70.8%（前期77.8%）となった。D I値は▲58.3（前期▲70.1）となり前期調査時に比べ、11.8ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲70.8（前期▲77.7）・建設業が▲46.2（前期▲40.0）・卸売業が▲62.5（前期▲85.7）・小売業が▲53.3（前期▲76.0）・飲食業が▲50.0（前期▲81.3）・サービス業が▲57.8（前期▲72.0）・交通運輸業が0.0（前期0.0）・その他の業種が▲100.0（前期▲80.0）となっている。業種別において製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業に改善がみられるが建設業、その他の業種については悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.5%、「やや悪い・悪い」との回答は41.6%、D I値は▲28.1となった。

現状のD I値（▲58.3）と比較すると、30.2ポイント改善の見通しとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲29.2・建設業が▲69.3・卸売業が0.0・小売業が▲26.7・飲食業が▲18.7・サービス業が▲21.1・交通運輸業が0.0・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると建設業を除くすべての業種が改善の見通しとなった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く45.8%（前期64.1%）を占めた。次いで「原材料高及び不足」が35.4%（前期21.4%）、「設備店舗の狭小老朽化」が34.4%（前期31.6%）と上位を占めた。業種別では製造業、小売業、飲食業は「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となったが、建設業と卸売業は「原材料高及び不足」、サービス業は「人手不足」が最も多い結果となった。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は26社27.1%（前期20.5%）であった。前期と比較して6.6ポイント減少した。業種別では、製造業が25.0%（前期16.7%）、建設業が15.4%（前期25.0%）、卸売業が12.5%（前期42.9%）、小売業が13.3%（前期4.0%）、飲食業が31.3%（前期31.3%）、サービス業が52.6%（前期20.6%）、交通運輸業が0.0%（前期0.0%）、その他業種が0.0%（前期20.0%）となった。

上野商工会議所地区（調査対象 280 事業所 回答状 123 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が13.0%（前期4.46%）、「やや悪い・悪い」が46.3%（前期61.9%）となった。D I値は▲33.3（前期▲57.5）となり、前期調査時に比べ24.2ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲28.0（前期▲52.0）・建設業が4.8（前期▲52.7）・卸売業が▲50.0（前期▲60.0）・小売業が▲38.5（前期▲64.7）・飲食業が▲46.2（前期▲93.8）・サービス業が▲56.0（前期▲44.0）・交通運輸業が▲40.0（前期▲66.7）となった。

業種別では前期D I値と比較して、建設業でマイナスからプラスに転じ、製造業・建設業・卸売業・小売業・飲食業・交通運輸業でマイナス幅が縮小し改善が見られた。一方で、サービス業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.2%、「やや悪い・悪い」との回答は41.4%、D I値は▲29.2となった。

現状のD I値（▲33.3）と比較すると、4.1ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲36.0・建設業が4.8・卸売業が▲33.3・小売業が▲30.8・飲食業が▲21.3・サービス業が▲52.0・交通運輸業が▲20.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、卸売業が16.7ポイント、小売業が7.7ポイント、飲食業が23.1ポイント、サービス業が4.0ポイント、交通運輸業が20.0ポイント改善を見通すほか、建設業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業は、8.0ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く59.3%（前期64.6%）、「原材料高及び不足」が30.9%（前期13.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が26.8%（前期28.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業では「競争激化」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は34社27.6%（前期25.7%）であった。前期と比較して1.9ポイント増加した。

業種別では、製造業が24.0%（前期12.0%）、建設業が19.0%（前期10.5%）、卸売業が0.0%（前期0.0%）、小売業が23.1%（前期23.5%）、飲食業が53.8%（前期43.3%）、サービス業が24.0%（前期40.0%）、交通運輸業が80.0%（前期100.0%）となった。業種別では、飲食業が7社と最も多かった。

名張商工会議所地域（調査対象 200 事業所 回答状 83 事業所）

現 状

令和3年7月～12月の業況は、「良い・やや良い」が16.9%（前期12.5%）、「やや悪い・悪い」が51.8%（前期63.4%）となった。D I 値は▲34.9（前期▲50.9）となり、前期調査時に比べ16.0ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲30.0（前期▲43.8）・建設業が▲30.0（前期▲50.1）・卸売業が0.0（前期▲75.0）・小売業が▲66.6（前期▲31.3）・飲食業が▲57.1（前期▲83.4）、サービス業が▲34.7（前期▲51.8）となった。業種別では前期D I 値と比較して製造業、建設業、卸売業、飲食業、サービス業で改善が見られた。一方で小売業が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が15.6%、「やや悪い・悪い」との回答は45.8%、D I 値は▲30.2となった。

現状のD I 値（▲34.9）と比較すると、4.7ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲10.0・建設業が▲25.0・卸売業が▲42.9・小売業が▲66.7・飲食業が▲14.3・サービス業が▲26.9となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が20.0ポイント・建設業が5.0ポイント・飲食業が42.8ポイント・サービス業が7.8ポイント改善を見通すほか、小売業は現在の水準で推移する見通しである。一方で卸売業が42.9ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、47.0%（前期55.4%）、「原材料高及び不足」が24.1%（前期16.1%）「競争激化」が20.5%（前期14.3%）、と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多かった。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は20社24.1%（前期15.2%）であった。前期と比較して8.9ポイント増加した。業種別ではサービス業が6社と最も多かった。

業種別では、製造業が10.0%（前期6.3%）、建設業が20.0%（前期15.4%）、卸売業28.6%（前期12.5%）、小売業が16.7%（前期6.3%）、飲食業が57.1%（前期50.0%）、サービス業が23.1%（前期6.9%）、となった。

尾鷲商工会議所地域（調査対象 131 事業所 回答状況 131 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が13.7%（前期12.0%）、「やや悪い・悪い」が48.1%（前期60.1%）となった。D I値は▲34.4（前期▲48.1）となり、前期調査時に比べ13.7ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲12.5（前期▲15.1）・建設業が▲8.0（前期▲22.8）・卸売業が▲55.6（前期▲49.9）・小売業が▲47.9（前期▲66.6）・飲食業が▲91.7（前期▲92.3）・サービス業が▲40.9（前期▲66.7）・交通運輸業が▲40.0（前期▲40.0）・その他の業種が▲33.3（前期▲83.3）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業、建設業、小売業、サービス業、その他の業種で改善が見られ、飲食業、交通運輸業がほぼ横ばいの結果となり、特にその他の業種については、マイナス幅が50.0ポイント縮小し、改善が見られた。一方で、卸売業では悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が9.9%、「やや悪い・悪い」との回答は41.2%、D I値は▲31.3となった。

現状のD I値（▲34.4）と比較すると、3.1ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲9.4・建設業が▲20.0・卸売業が▲55.5・小売業が▲52.2・飲食業が▲75.0・サービス業が▲22.7・交通運輸業が▲20.0・その他の業種が▲33.3となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、交通運輸業が20.0ポイント改善を見通すほか、サービス業が18.2ポイント、飲食業が16.7ポイント、製造業が3.1ポイントの改善を見通し、卸売業とその他の業種がほぼ横ばいとなる結果となった。一方で、建設業で▲12.0ポイント、小売業で▲4.3ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く48.9%（前期56.4%）、「原材料高及び不足」が25.2%（前期26.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が20.6%（前期21.8%）、「人件費以外の経費増加」が17.6%（前期17.3%）、「人手不足」が14.5%（前期14.3%）、「競争激化」が9.9%（前期14.3%）と上位を占めた。

業種別では、原材料高及び不足について、交通運輸業では前期4位の20.0%から今期1位の60.0%、飲食業では前期3位の38.5%から今期1位の58.3%へ増加した。

【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は23社17.6%（前期18社13.5%）であった。前期と比較して4.1ポイント増加した。

業種別では、製造業28.1%（前期9.1%）、建設業12.0%（前期4.5%）、卸売業0.0%（前期16.7%）、小売業13.0%（前期14.8%）、飲食業16.7%（前期15.4%）、サービス業22.7%（前期23.8%）、交通運輸業0.0%（前期0.0%）、その他の業種33.3%（前期33.3%）となり、前期と比較し、製造業が19.0ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業が▲16.7ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、製造業が9社と最も多かった。

熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 64 事業所）

現 状

令和3年7～12月の業況は、「良い・やや良い」が14.0%（前期6.0%）、「やや悪い・悪い」が59.4%（前期72.7%）となった。D I値は▲45.4（前期▲66.7）となり、前期調査時に比べ21.3ポイント改善する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲33.3（前期▲76.9）・建設業が▲23.1（前期▲14.3）・卸売業が0.0（前期▲75.0）・小売業が▲62.5（前期▲75.8）・飲食業が▲50.0（前期▲100.0）・サービス業が▲57.1（前期▲66.7）・その他の業種が▲100.0（前期▲66.7）となった。

業種別では前期D I値と比較して製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で改善が見られた。特に卸売業については、マイナス幅の大幅な縮小により改善が見られた。一方で、建設業、その他の業種が悪化した。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が4.7%、「やや悪い・悪い」との回答は43.8%、D I値は▲39.1となった。

現状のD I値（▲45.4）と比較すると、6.3ポイント業況の改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲50.0・建設業が▲53.9・卸売業が0.0・小売業が▲25.0・飲食業が▲50.0・サービス業が▲42.9・その他の業種が▲100.0となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、建設業が10.4ポイント・卸売業が50.0ポイント・小売業が26.7ポイント改善を見通す一方で製造業は3.8ポイント・飲食業は5.6ポイント・サービス業1.2ポイント・その他の業種66.7ポイント悪化を見通す結果となった。

目立った変化等

【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、46.9%（前期71.4%）、「原材料高及び不足」が34.4%（前期22.6%）、「設備店舗の狭小老朽化」が26.6%（前期22.6%）と上位を占めた。

また、業種別では建設業が前期1位「売上・受注の停滞減少」71.4%から今期1位は「人手不足」と「原材料高及び不足」61.5%に変動した。

「人手不足」と「原材料高及び不足」の課題が上昇している状況が窺える。

【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は12社 18.8%（前期15.5%）であった。前期と比較して3.3ポイント増加した。業種別ではサービス業が5社と最も多かった。

景況調査票

令和4年1月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
〈建設業〉	6.化学製品	7.土石業	8.印刷・出版	9.その他	
〈卸売業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈小売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈飲食業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈サービス業〉	21.飲食店	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3 現状について…令和3年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	い	2. やや	良い	3. 変わ	らない	4. やや	悪い	5. 悪	い
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---

理由:)

4 今後の見通しについて…令和4年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	い	2. やや	良い	3. 変わ	らない	4. やや	悪い	5. 悪	い	6. わか	らない
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---	-------	-----

理由:)

5 売上状況について…令和3年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや	増加	3. 変わ	らない	4. やや	減少	5. 減	少
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---

6 売上の見通しについて…令和4年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	加	2. やや	増加	3. 変わ	らない	4. やや	減少	5. 減	少	6. わか	らない
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---	-------	-----

7 利益状況について…令和3年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	加	2. やや	増加	3. 変わ	らない	4. やや	減少	5. 減	少
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや	好転	3. 変わ	らない	4. やや	悪化	5. 悪	化
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや	好転	3. 変わ	らない	4. やや	悪化	5. 悪	化	6. 仕入	なし
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---	-------	----

10 設備投資について

令和3年7～12月の実績		令和4年1～6月の予定			
1. 行	った	1. 予	定あり	2. 予	定なし

11 資金繰りの現状について…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	転	2. やや	好転	3. 変わ	らない	4. やや	悪化	5. 悪	化
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---

12 資金繰りの見通しについて…令和4年1～6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	転	2. やや	好転	3. 変わ	らない	4. やや	悪化	5. 悪	化	6. わか	らない
------	---	-------	----	-------	-----	-------	----	------	---	-------	-----

13 借入の現状について…令和3年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	易	2. 普	通	3. 困	難
------	---	------	---	------	---

14 借入予定はどうか…(令和4年1～6月)

1. 予	定	して	いる	2. 予	定	して	いない
------	---	----	----	------	---	----	-----

14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間	金融機関	2. 公的	金融機関	3. そ	の	他
-------	------	-------	------	------	---	---

14-② 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運	転	資	金	2. 設	備	資	金
------	---	---	---	------	---	---	---

15 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争	激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材	育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地	条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的	規制等(緩和を含む)
5. 借入	10. 原材料高及び不足	15. 税務	・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特にコロナウイルス感染症の影響、国・県などの経済支援策の活用状況や、今後行政へ希望する対策などを含めて御記入ください。

御協力ありがとうございました。